

工業用水道事業会計決算

平成18年度公営企業の決算状況をお知らせします

給水状況

給水事業所数	20事業所
配水能力	5,300 m ³ /日
年間総配水量	733,939 m ³
1日最大配水量	3,273 m ³
1日平均配水量	2,011 m ³

平成18年度は、17年度と同じく20事業所への給水を行いました。給水量は、工業団地の各事業所における使用水量が増えたことから、前年度に比べ15.6%の伸びとなりました。これにより、料金収入は前年度より230万円増加して2467万円となりました。

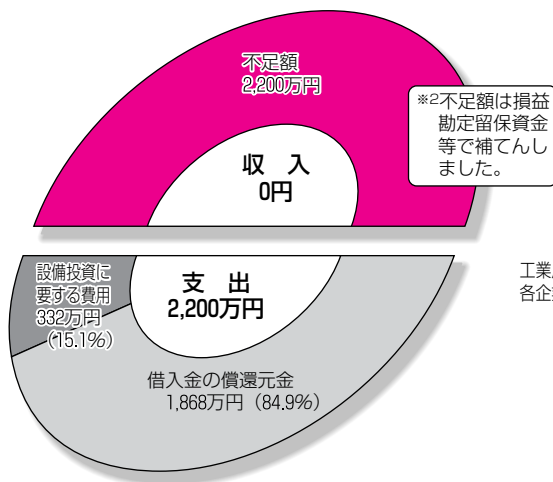
料金収入が増加した分、一般会計からの繰入金を減額しました。結果として昨年度より4万円多い303万円の黒字となりました。

この純利益(利益剰余金)は、借入金の返済に充てるため積み立てます。

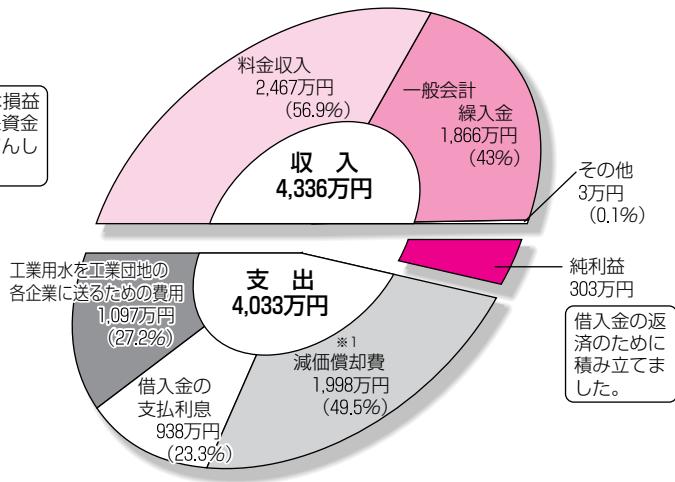
303万円の

単年度黒字

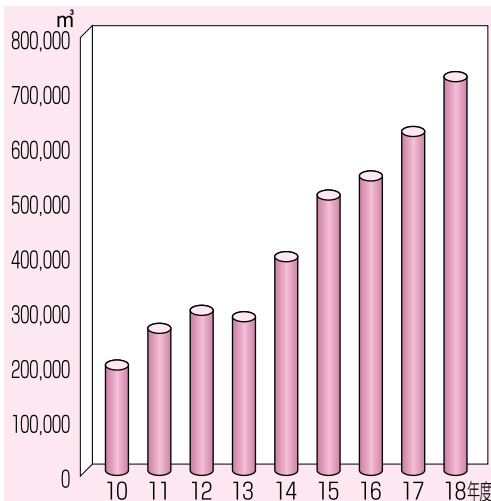
資本的収支 (消費税込み) 〈施設の整備に関する収支〉



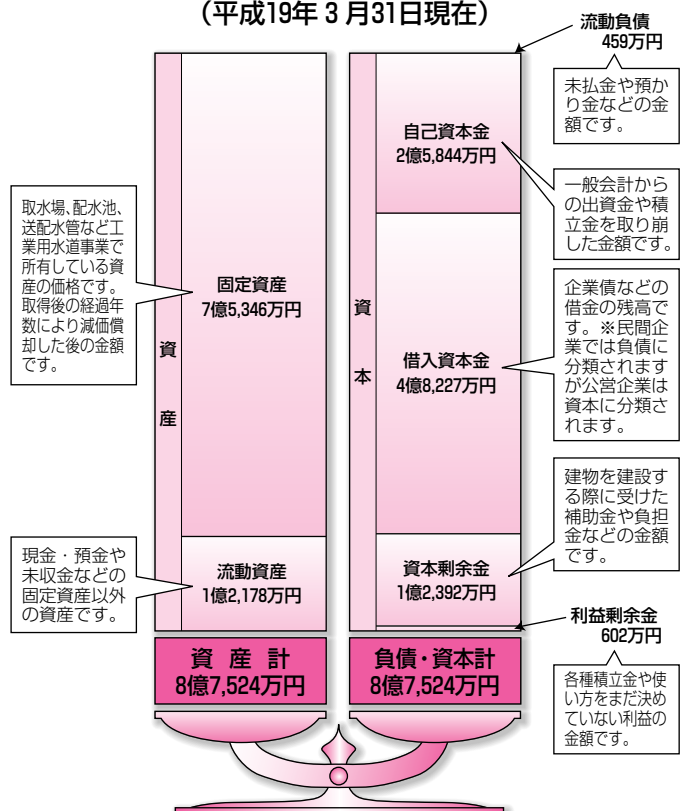
収益的収支 (消費税抜き) 〈事業の運営に関する収支〉



年間配水量の推移



平成18年度大館市工業用水道事業貸借対照表 (平成19年3月31日現在)



用語解説

- ※1 減価償却費
建物など、時の経過などによって資産の価値が減る分を費用として計上します。実際には現金の支出は伴わず、損益勘定留保資金として処理します。
- ※2 損益勘定留保資金
資本的収支の不足額を会計処理上補う財源の一つで、減価償却費です。